

COP15からの道

メディアの視点

共同通信社科学部・井田徹治
KYODO NEWS, Tetsuji IDA



COP15をどう見るか？

プロセスについて

Friends of Chair 方式

20カ国前後、すべてのグループを代表

主要議題で合意の大筋をまとめCOPに示す

COPで合意されることもあれば修正されることも

FoCの合意をグループ国が拒否することも

COP6

この手法はこれまでもあったこと

COP15をどう見るか？

異常だったのは…

議長国の不手際

議長国と事務局との意志疎通の不十分さ

一部の途上国の行動

「合意を求めない」との姿勢？

不信感の高まり・さまざまな誤解と無知

首脳級会合の開会

COP15をどう見るか？

温暖化交渉の歴史認識

「国連方式」の長い歴史

FCCCをまとめるため&

採択後、COP1までのプロセス INC

FCCC・ベルリンM・京都議定書・バリRM・・・

ボランティアな手法の失敗という長い歴史

FCCCの「目標」、各国の政策

FCCCとKPのプロセスの中で、バインディングな数値目標の合意を目指すのが本筋

COP15をどう見るか？

必要なこと

FCCCのクレジットの回復

In faith な交渉のためのムードづくり

議長国のキャパシティ・ビルディング

米・中への包囲網の構築

一層の途上国対策 特にLDC

COP15をどう見るか？

COP16でのバインディングな目標の合意？

米国の法案が大きな影響

中間選挙前はかなり困難

ボランタリー手法に逃げ込む国・勢力の存在

コペンハーゲンアコードがより所に

中国、日本や米国の消極派

COP15が残した傷跡

国連方式への疑問、各国間の溝

COP15をどう見るか？

いくつかの留意点

「米国は拘束力ある合意を受け入れない」は誤り
国内法が先決

「米国は17%から動かない」は誤り
多くの削減余地

「コンセンサス = 満場一致」は誤り
条件が満たされれば交渉は進む

米排出量に大幅削減余地

05年比29%減も可能 温室ガスでシンクタンク

【コペンハーゲン共同】米国の2020年時点の温室効果ガス排出量は、米上院で現在審議中の法案に盛り込まれた削減策が実行されれば、05年比で29%減る可能性があるとする試算を、米環境シンクタンクの世界資源研究所(WRI)が8日までにまとめた。

米政府が発表している「05年比17%減」との目標値を大幅に上回る。気候変動枠組み条約第15回締約国会議(COP15)や、それに続く国際交渉で、米国がより大きな削減目標を受け入れる余地があることを示すデータとして注目される。

法案は、米国内の企業に排出削減を義務付け、企業間の排出量取引制度を導入するのが対策の柱。試算によると、この対策による直接の削減効果は05年比17%減で、米政府目標とほぼ同じ。しかし、同法案は削減が義務付けられない企業などにも、多くの対策を取るよう求めている。

このためWRI研究チームは、建築物の省エネ対策やごみの埋め立て地からのメタン排出削減、森林や農業分野での削減対策など、排出量取引以外の政策について細かく分析。予想される削減量を評価したところ、05年比29%減は可能との結論になった。この数字は、京都議定書に基準年になっている1990年比だと17%の削減に当たる。

WRIはさらに「(法案には盛り込まれていない)海外からの排出枠の獲得などを加えれば、05年比で34%減(90年比では23%減)という大幅な削減が達成される可能性もある」とした。

COP16に向けて

日本にできること

25%削減を確実にする政策を示す

炭素税、排出量取引

新エネの大幅拡大

省エネ：特に建築物

「25%削減」COP15では高い評価

リーダーシップを取れる可能性

ただしいつまでもこれだけでは続かない

エネルギー政策改革の重要性

Energy policies in Japan

原子力と石炭火力中心 dependence on Nuke and Coal

原発トラブルの多発 Many troubles in Nuke Plant

悪化する「発電原単位」 Worsening carbon intensity

発電からの排出増加 Increasing GHGs emissions

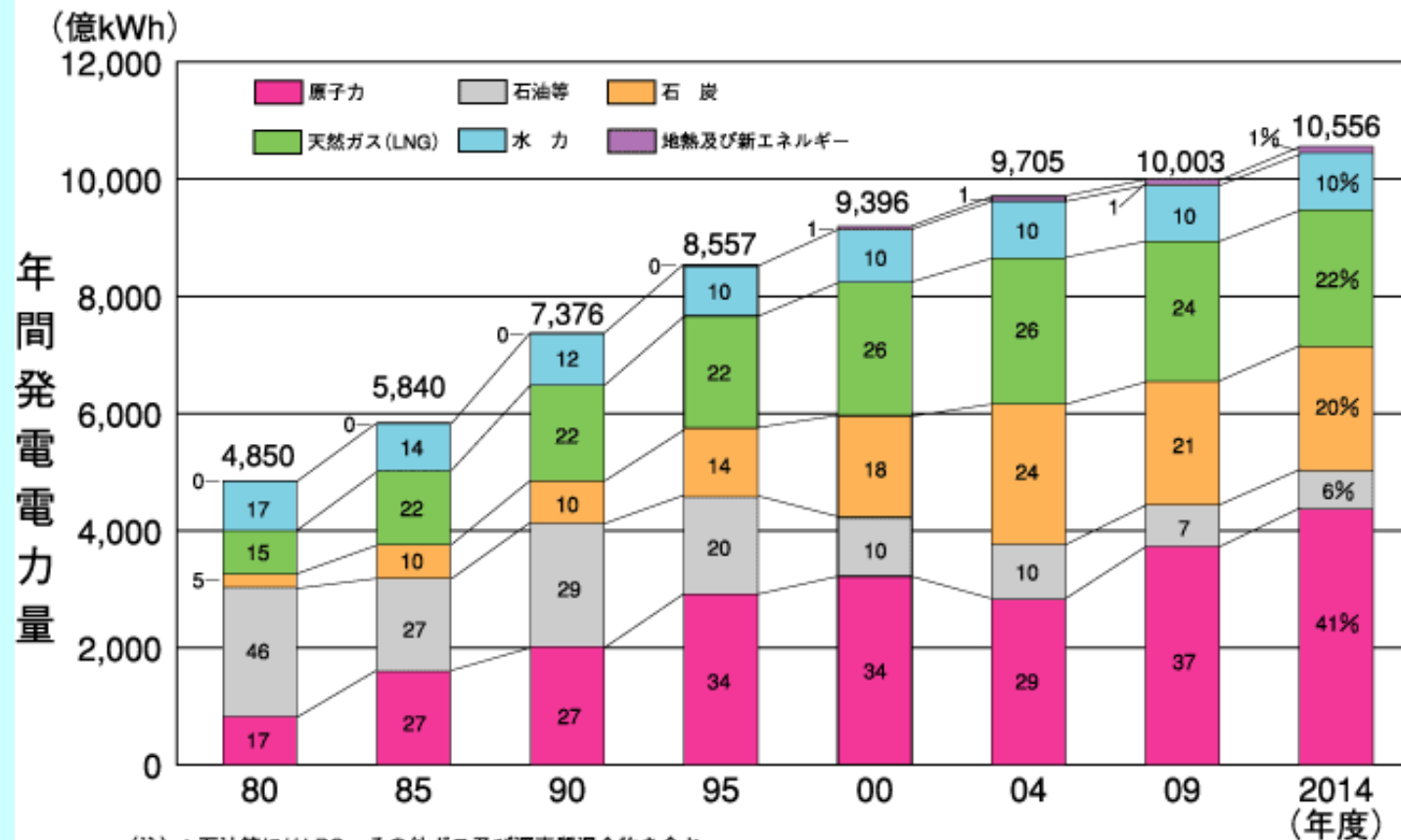
不十分な新エネ政策 Inappropriate Policies in RES

太陽光でドイツに抜かれ Now behind Germany in solar power

風力で中国に抜かれ Now behind China in wind power

遅れる電力分野の対策

電源別発電電力量の実績および見通し



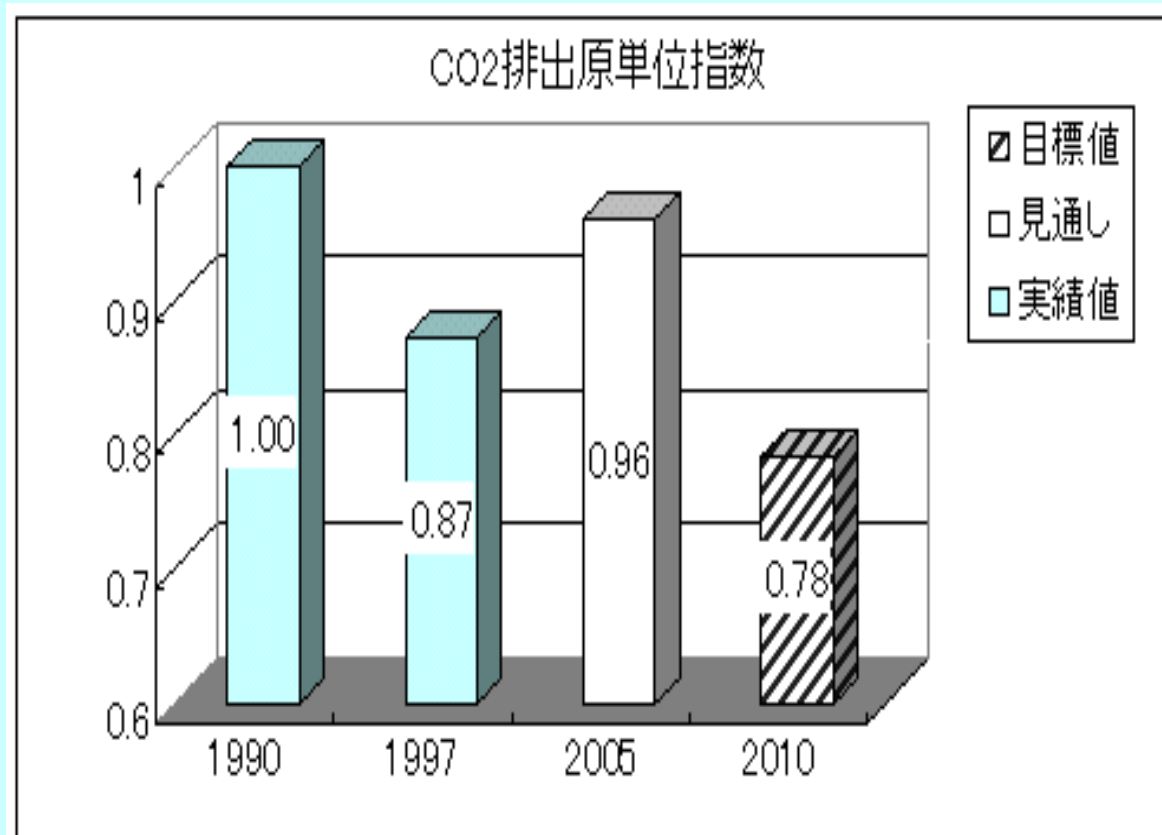
(注) 1.石油等にはLPG、その他ガス及び遷青質混合物を含む。
 2.四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。
 3.10電力計。受電を含む。
 4.グラフ内の数値は構成比(%)を示す。

出典：平成17年度供給計画の概要（平成17年3月）他

Share of sources of Japanese electricity generation

悪化する排出原単位

Co2 intensity of Japanese Power plant



注. 原単位指数は1990年度の実績を1とした。

3Es for energy policy:

Energy security,

Economy and

Environment where?

日本は優等生か？

購買力平価

Co2 intensity of Japanese economy

M tons of CO2 per mil international \$

Year	1990	2003	
Belgium	474.3	416.2	0.877504
Denmark	410.2	363.8	0.886884
Germany	581.7	399	0.685921
Iceland	319.3	260.8	0.816787
Japan	371.6	372.1	1.001346
Netherlands	453.4	394	0.86899
Sweden	272.5	230.7	0.846606
United Kingdom	450	328.8	0.730667
United States	684.9	556.1	0.811943

CO2 emissions per GDP,PPP in selected countries (IEA)

日本は優等生か？

Co2 intensity of Japanese economy

世界銀行の温暖化政策評価 世界で62位！

Growth and CO2 Emissions, November,2007

Table 6. Offsetting Coefficients for Decomposition of Emissions, 1994–2004

Country	Offsetting coefficient	Country	Offsetting coefficient
Ukraine	267.4	Belgium	32.0
Romania	183.6	Trinidad and Tobago	30.4
Denmark	169.1	India	30.0
Bulgaria	140.3	Korea, Rep. of	29.9
Belarus	136.4	South Africa	26.8
Azerbaijan	135.5	Netherlands	21.7
Czech Republic	124.4	Bahrain	21.5
Poland	123.7	Syrian Arab Rep.	19.0
Algeria	122.6	Philippines	14.2
Slovak Republic	113.5	Ecuador	12.4
Hungary	109.5	Australia	10.3
Germany	103.9	Singapore	8.8
Nigeria	102.7	Austria	6.0
Russian Fed.	101.0	Egypt, Arab Rep. of	5.7
Sweden	100.4	Brazil	4.0
United Kingdom	92.4	Israel	3.5
Colombia	83.6	Vietnam	-3.3
Finland	80.7	Turkey	-4.9
Morocco	77.3	Iran, Islamic Rep. of	-6.3
Kazakhstan	75.0	Malaysia	-10.5
United States	62.1	Chile	-16.2
Switzerland	56.7	Portugal	-18.6
Croatia	51.5	Norway	-19.5
Peru	50.6	Italy	-24.4
Ireland	50.2	Spain	-25.4
Canada	45.8	Oman	-26.9
France	45.5	Japan	-31.9
Mexico	45.1	Bangladesh	-33.2
Tunisia	43.8	Indonesia	-33.9
Uzbekistan	42.8	Angola	-38.6
China	40.5	Dominican Republic	-45.6
New Zealand	37.9	Thailand	-74.6
Pakistan	37.1	Venezuela, R. B. de	-83.8
Greece	36.5	Argentina	-89.8
United Arab Emirates	35.7	Saudi Arabia	-102.8

Source: World Bank calculations.

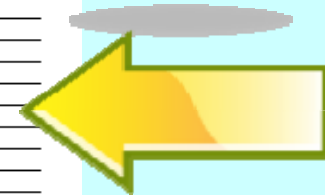


図1.
世界の風力発電設備容量 1996年—2008年

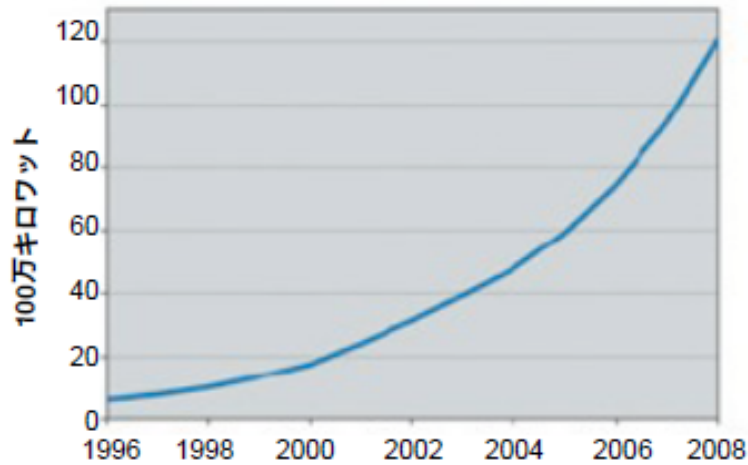


図2.
風力発電設備容量 上位10カ国 2008年

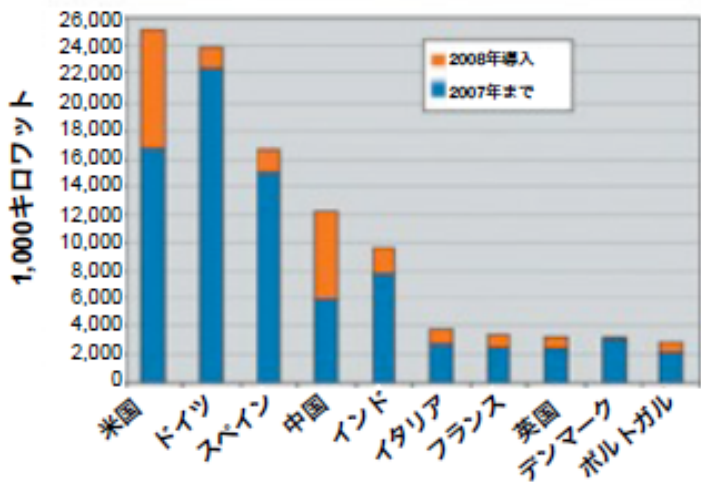
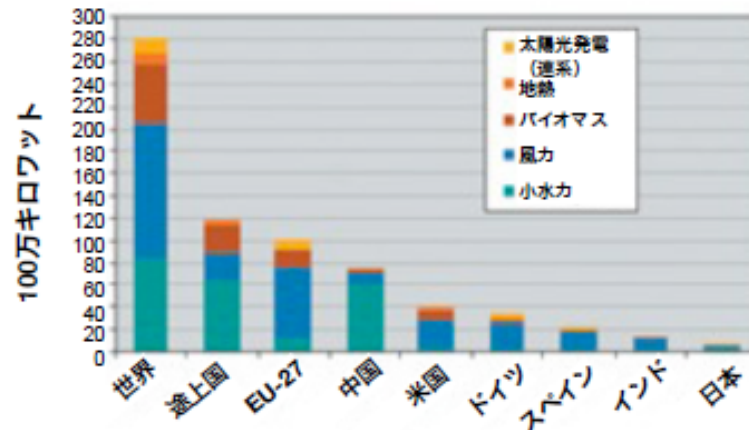
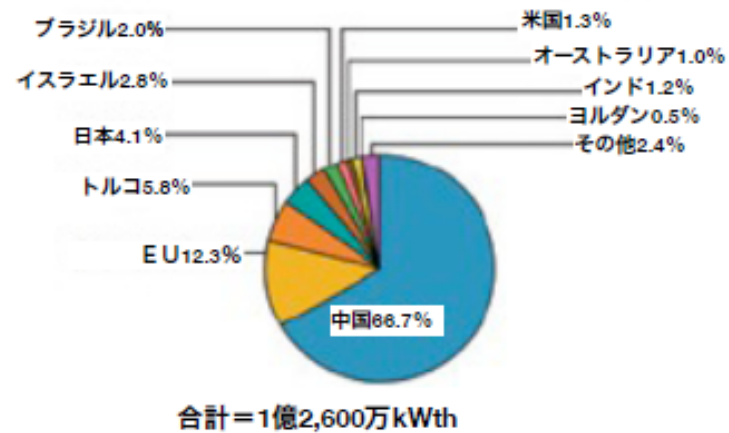


図4.
自然エネルギー発電設備容量
途上国、EU、上位6カ国 (2008)

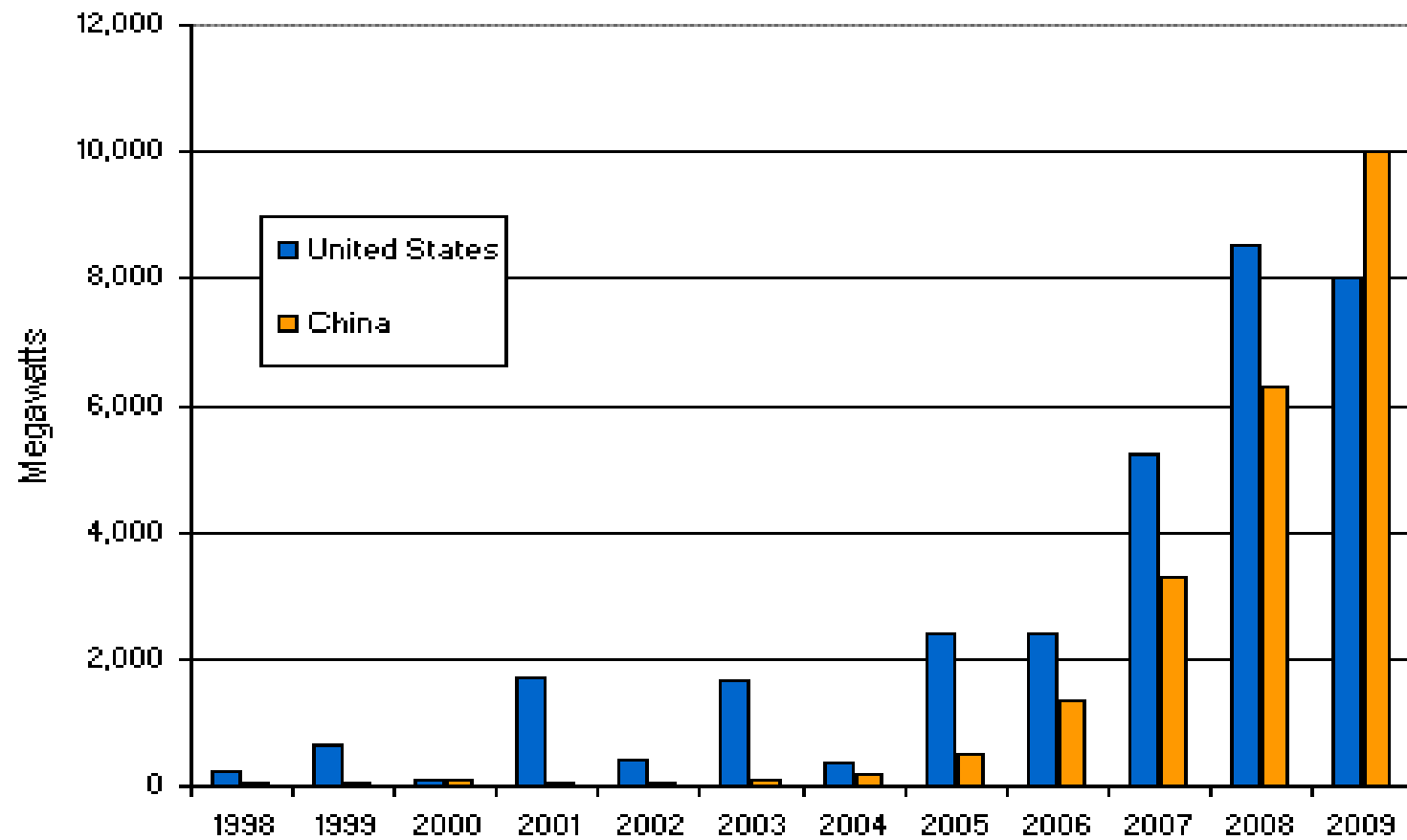


注：大型水力発電を除く

図5.
太陽熱温水/暖房設備の累計設備容量
上位10カ国 (2007年)



Net Annual Wind Power Capacity Installations in the United States and China, 1998-2008, with Projection for 2009



Source: Worldwatch; GWEC; AWEA; CREIA; EEP

COP16に向けて (2)

日本にできること

米国の国内対策のアシスト

C & Tの導入と国際的リンクの模索

米国内の企業への影響

国内計画の明確化

25%の裏打ちとなる政策

中国対策での協力・共同歩調

米国内に強い中国脅威論

COP16に向けて (3)

いくつかの提案

今後、10年が非常に重要

2010～の10年を「特別行動期間に」
社会と経済の変革のための緊急対策

対策にはお金がかかる

ただし将来に向けて意味のある投資

毎年 GDP 1%を温暖化対策に 国際的な相場

革新的手法の検討を

REDD 連帯税 国際航空・海上運輸の対策

ご静聴ありがとうございました
Thank you so much!

ご質問や御意見は……

E-mail : tetsujida@aol.com

